

最近の経済動向

平成29年1月号

北海道の景気動向(平成28年11月の経済指標を中心として)

一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している

■需要動向(消費・投資)

- P 1 個人消費(百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、新車登録台数)
緩やかに持ち直している
- P 2 住宅建設(新設住宅着工戸数)
回復している
- P 3 公共工事(公共工事請負金額)
減少している
- P 3 観光(来道者数)
改善している
- P 4 輸出入(輸出入額)
輸出額、輸入額とも前年を下回った

■生産動向

- P 4 生産活動(鉱工業生産指数)
一進一退の動きとなっている
- P 5 企業倒産(件数、負債総額)
倒産件数、負債総額とも減少した

■雇用動向

- P 6 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、有効求人倍率)
改善している
- P 7 失業(完全失業者数、完全失業率)

■物価動向

- P 7 物価(消費者物価指数)
消費者物価指数は前年を下回った

■企業情報

- P 8 企業のみなさまから伺いました

■地域の経済動向

- P 10 道南圏、道央圏、道北圏、オホーツク圏、十勝圏、釧路・根室圏

■景気動向指数・全国の景気

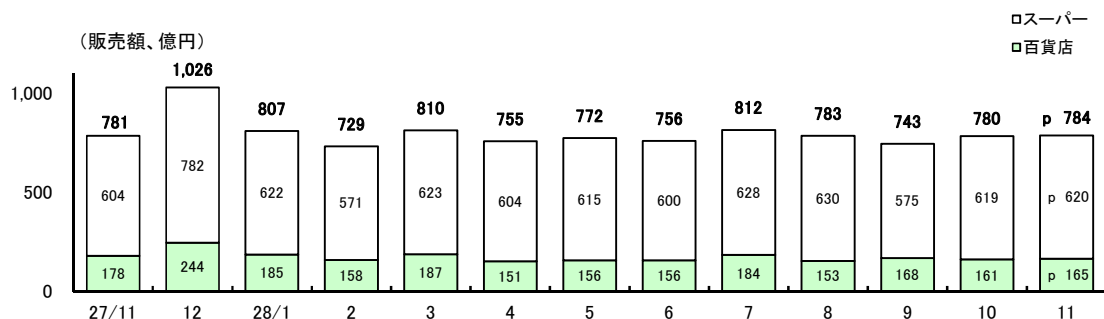
- P 16 北海道の景気動向指数

[需要動向(消費・投資)]

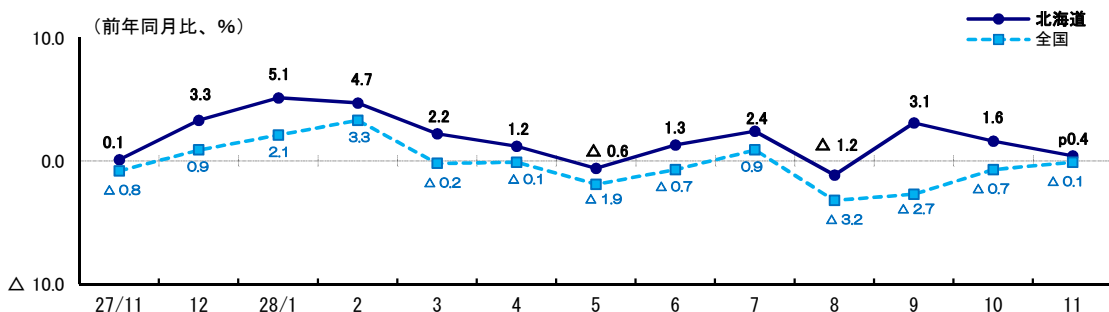
■個人消費～緩やかに持ち直している

◆百貨店・スーパー(全店)販売額(11月)◆

百貨店・スーパー販売額は、784億円で前年同月比0.4%の増加となり、3か月連続で前年を上回った。



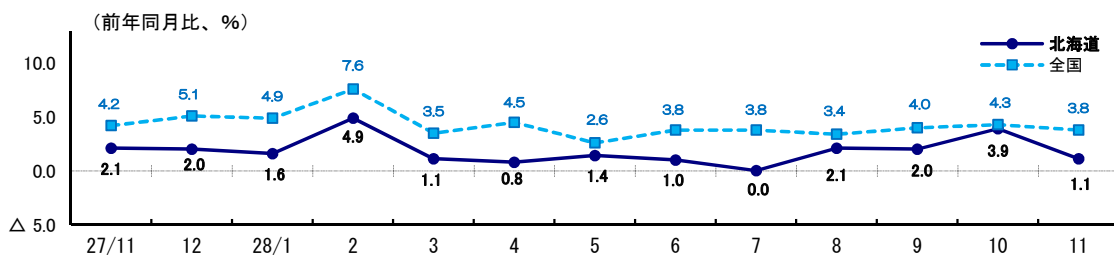
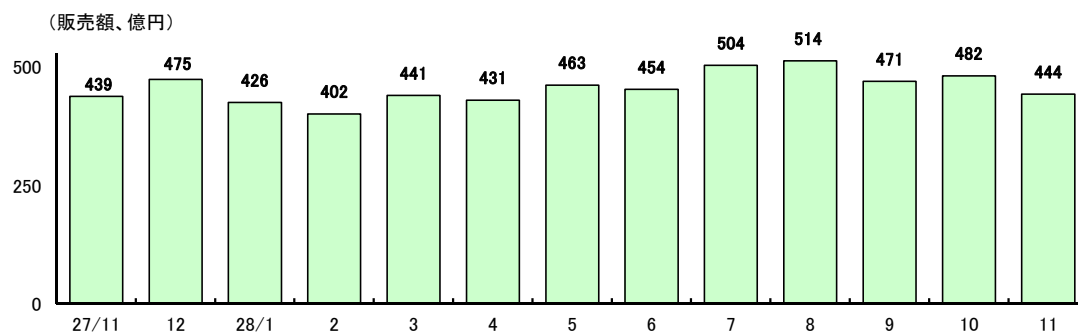
(注)pは速報値(以下同様)



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆コンビニエンスストア(全店)販売額(11月)◆

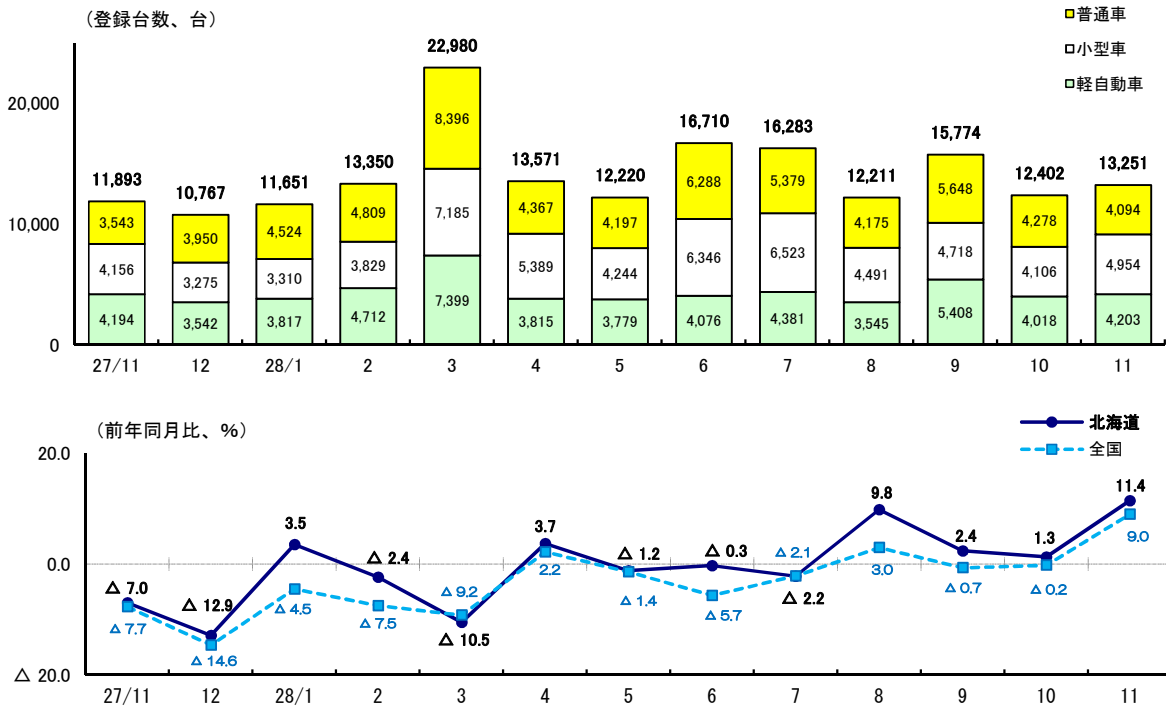
コンビニエンスストア販売額は、444億円で前年同月比1.1%の増加となり、4か月連続で前年を上回った。



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数（11月）◆

新車登録台数は、13,251台で前年同月比11.4%の増加となり、4か月連続で前年を上回った。

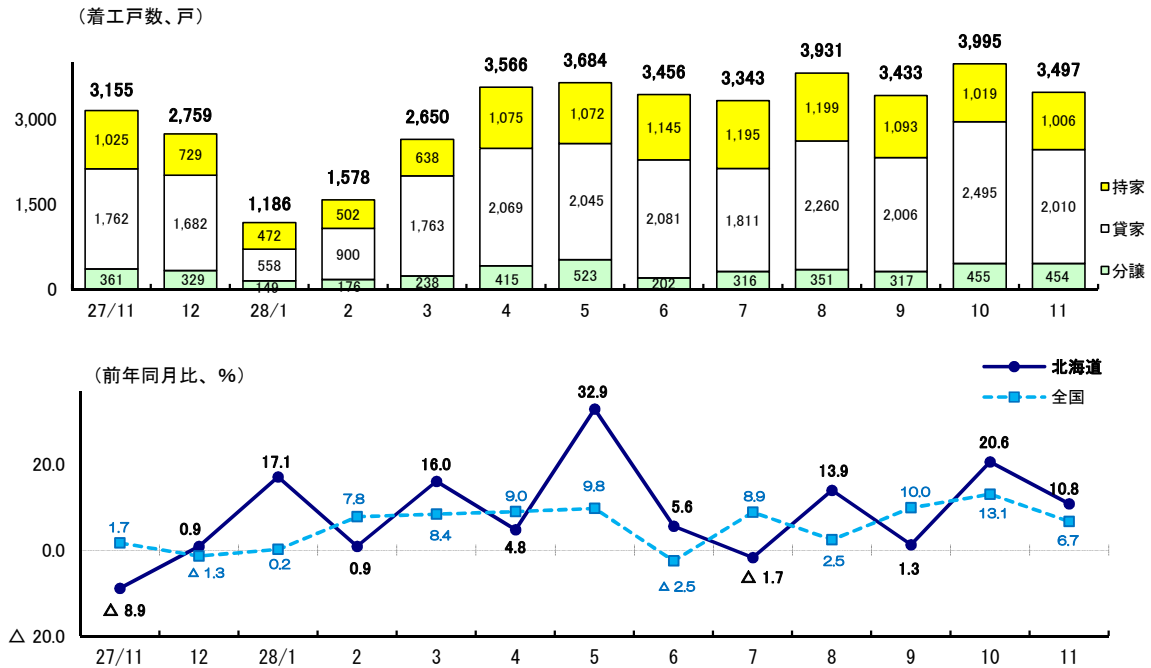


((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会調べ)

■住宅建設～回復している

◆新設住宅着工戸数（11月）◆

総戸数は、3,497戸で前年同月比10.8%の増加となり、4か月連続で前年を上回った。

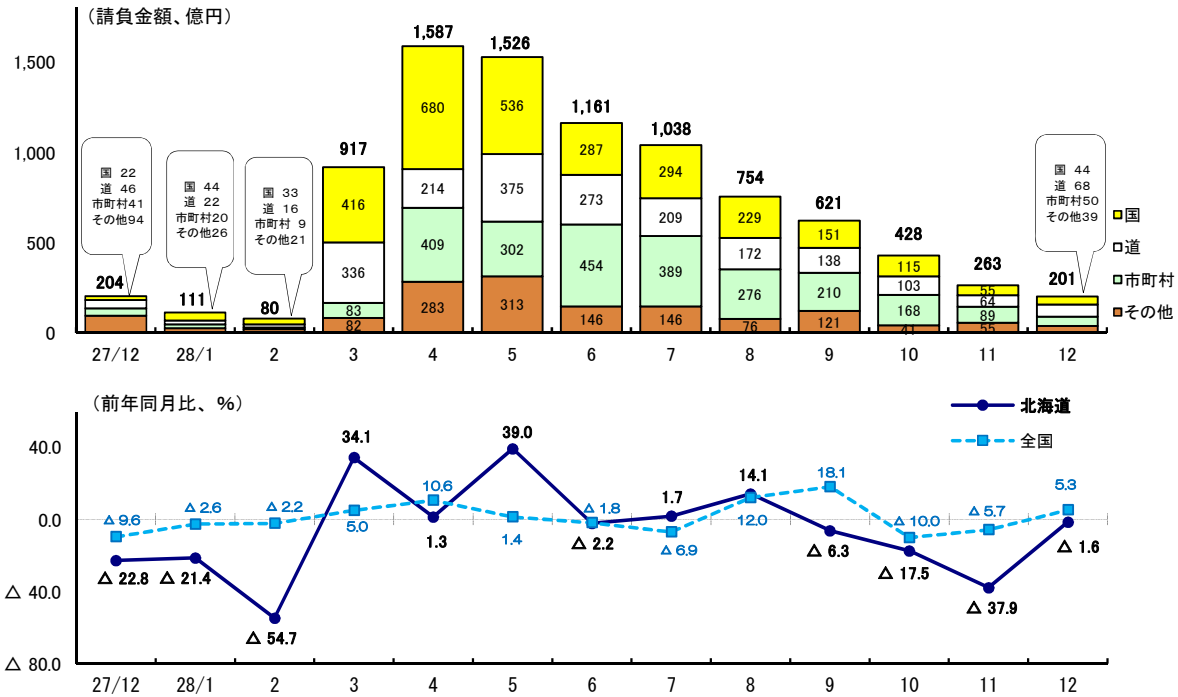


(国土交通省住宅局調べ)

■公共工事～減少している

◆公共工事請負金額（12月）◆

請負金額は、201億円で前年同月比1.6%の減少となり、4か月連続で前年を下回った。



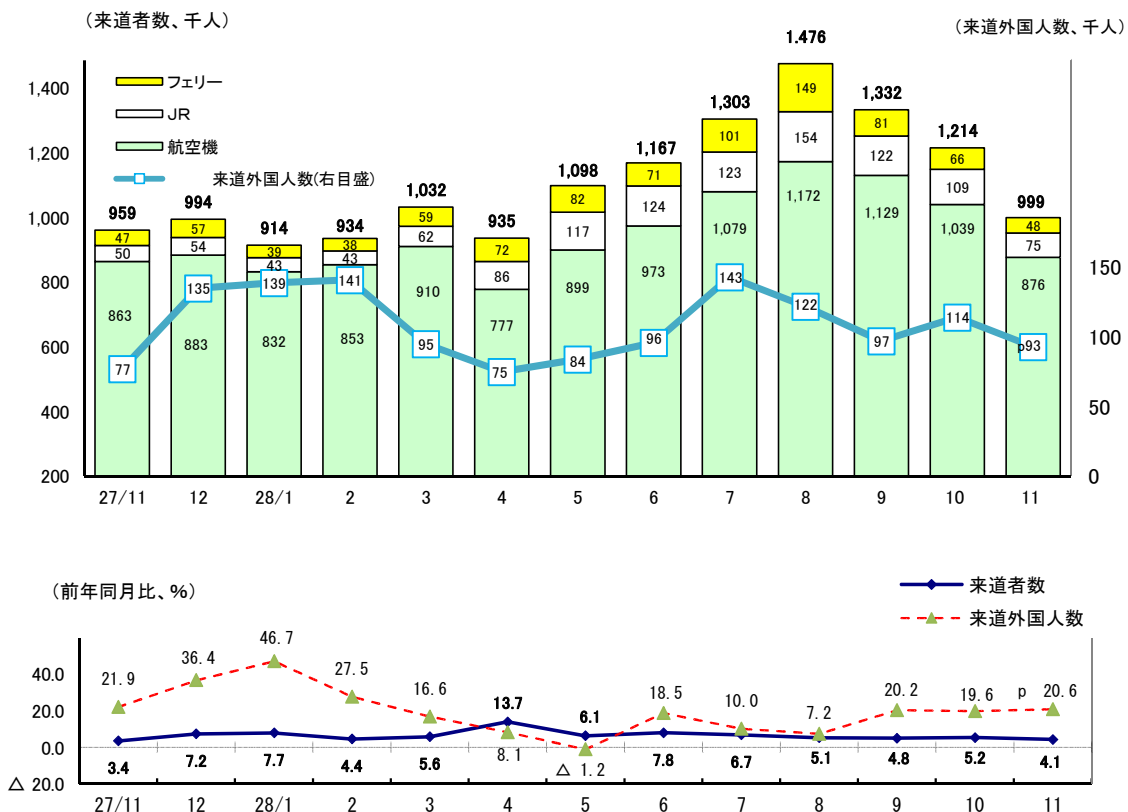
(北海道建設業信用保証(株)調べ)

■観光～改善している

◆来道者数（11月）◆

来道者数は、99万9千人で前年同月比4.1%の増加となり、25か月連続で前年を上回った。

本道に直接入国した外国人は、9万3千人で同20.6%の増加となり、6か月連続で前年を上回った。



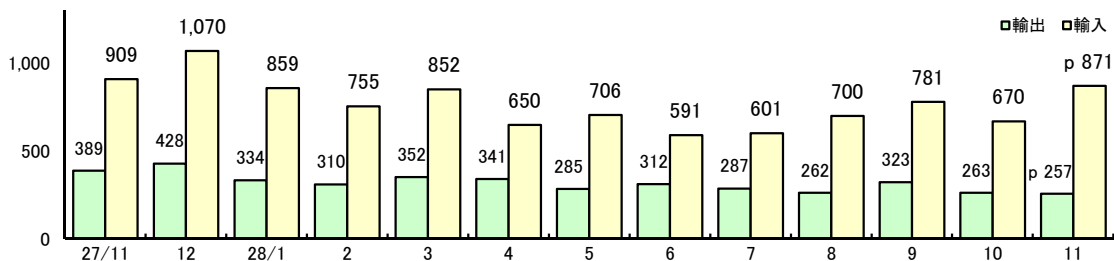
((公社)北海道観光振興機構、法務省入国管理局調べ)

■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を下回った

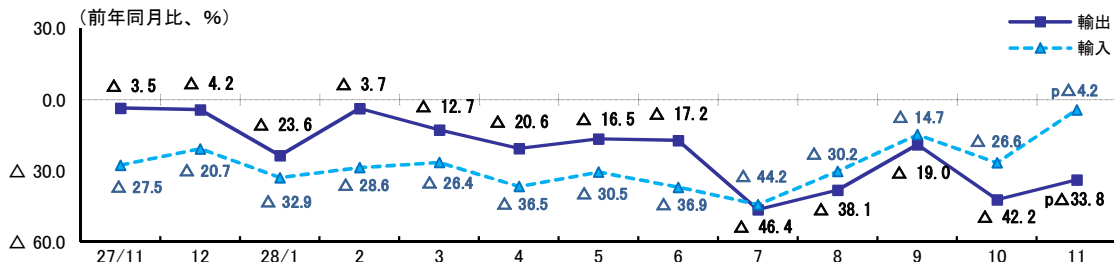
◆輸出入額（11月）◆

輸出額は、257億円で前年同月比33.8%の減少となり、13か月連続で前年を下回った。
輸入額は、871億円で同4.2%の減少となり、16か月連続で前年を下回った。

(輸出入額、億円)



(前年同月比、%)



(財務省、函館税関調べ)

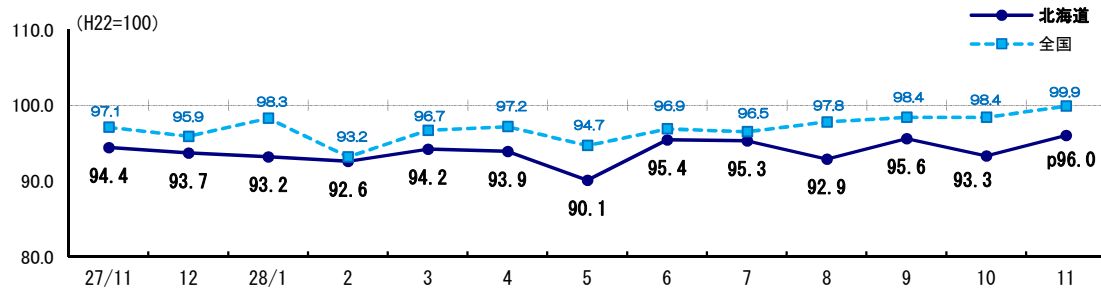
[生産動向]

■生産活動～一進一退の動きとなっている

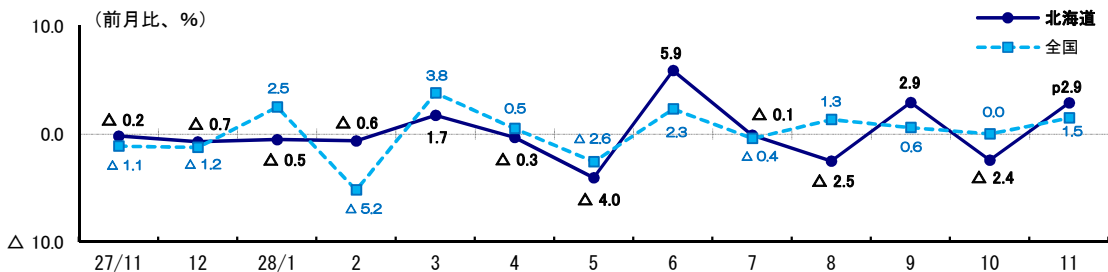
◆鉱工業生産指数（11月）

鉱工業生産指数(季節調整済)は、96.0で前月比2.9%の上昇となり2か月ぶりに前月を上回った。

(H22=100)



(前月比、%)

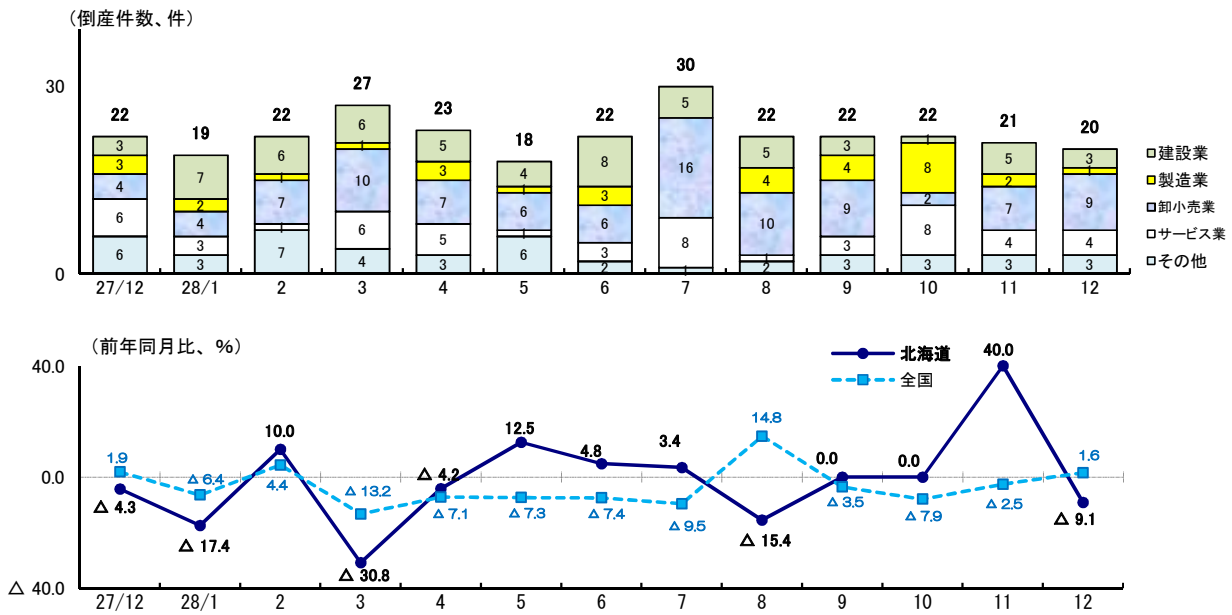


(北海道経済産業局調べ)

■企業倒産～倒産件数、負債総額とも減少した

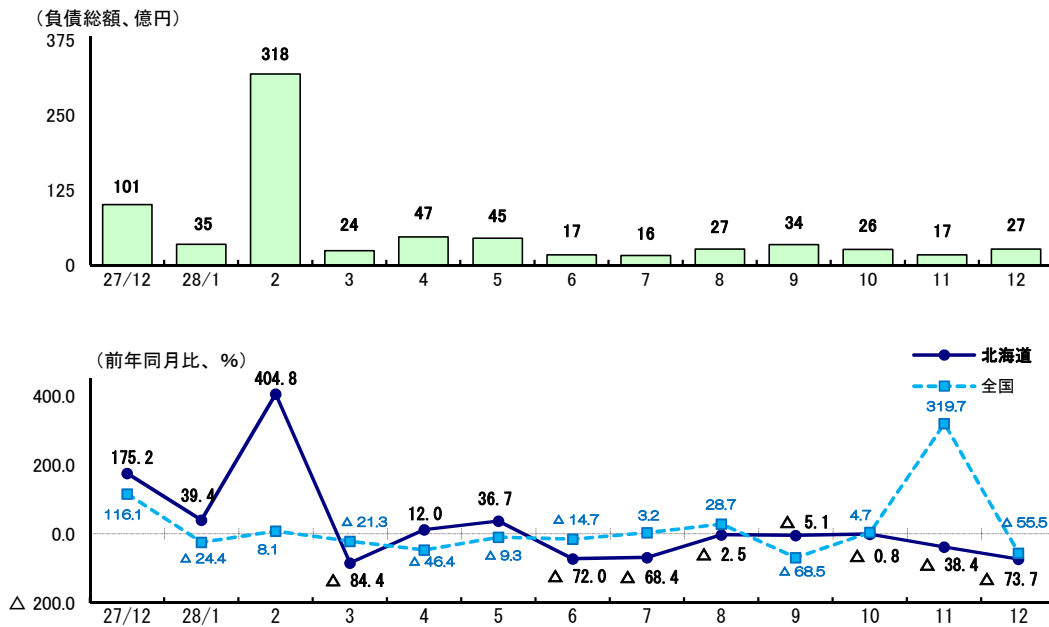
◆企業倒産件数（12月）◆

企業倒産件数は、20件で前年同月比9.1%の減少となり、4か月ぶりに前年を下回った。



◆負債総額（12月）◆

負債総額は、27億円で前年同月比73.7%の減少となり、7か月連続で前年を下回った。

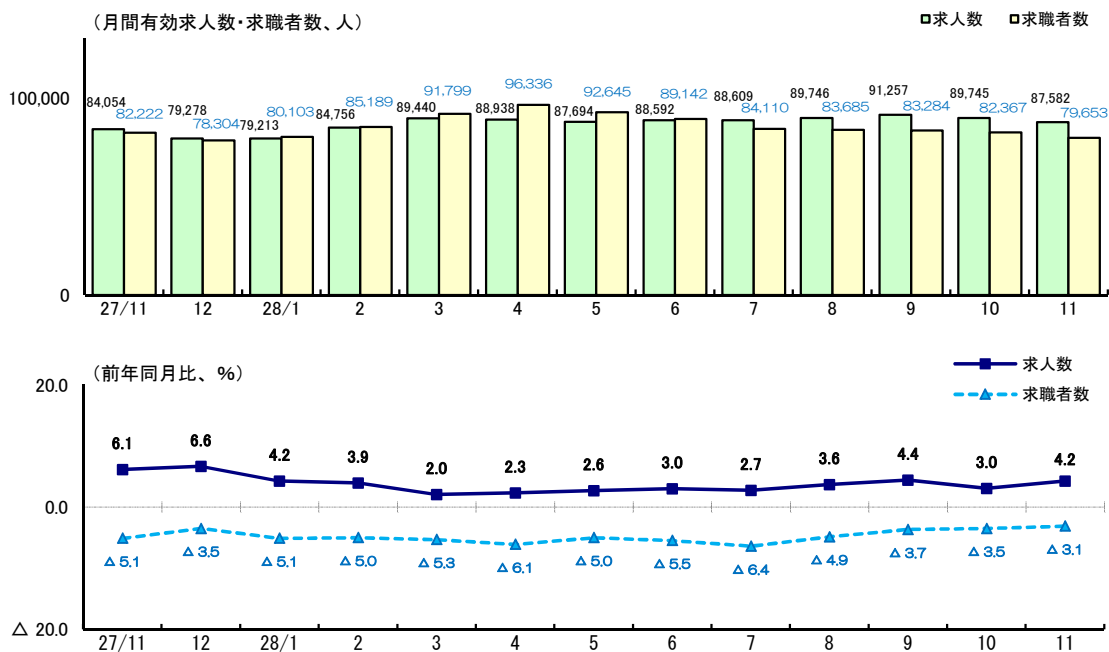


[雇用動向]

■求人・求職～改善している

◆月間有効求人数・求職者数（11月）◆

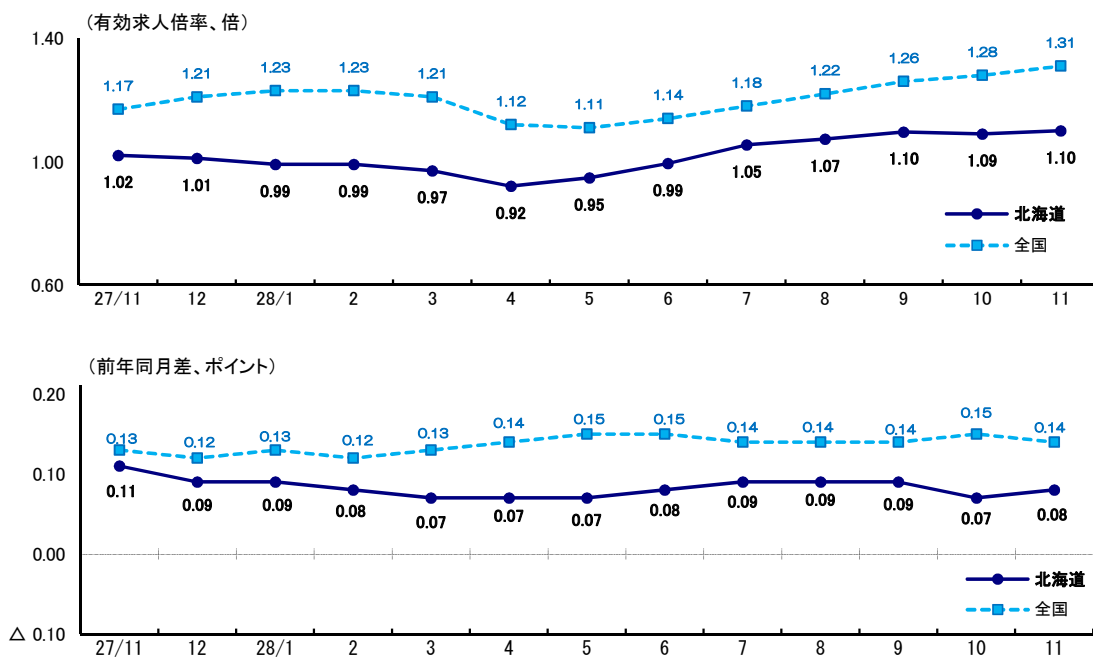
月間有効求人数は、8万7,582人で前年同月比4.2%の増加となり、82か月連続で前年を上回った。
月間有効求職者数は、7万9,653人で同3.1%の減少となり、61か月連続で前年を下回った。



(厚生労働省及び北海道労働局調べ)

◆有効求人倍率（11月）◆

有効求人倍率は、1.10倍で前年同月差で0.08ポイントの増加となり、82か月連続で前年を上回った。

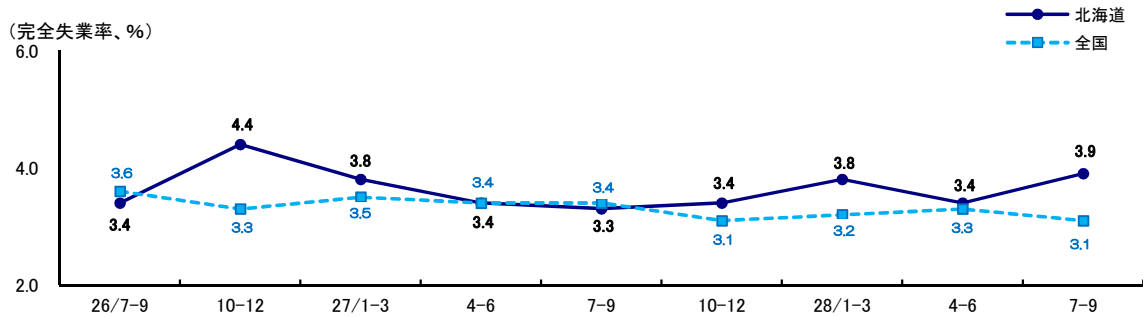
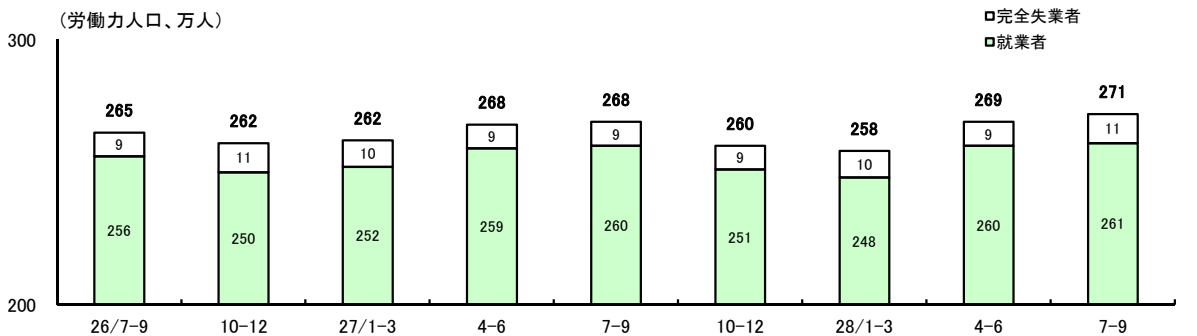


(厚生労働省及び北海道労働局調べ)

■失 業

◆完全失業者数、完全失業率（28年7-9月期）◆

完全失業者数は、11万人で前年同期と比べ2万人増加した。
完全失業率は、3.9%で前年同期と比べ0.6ポイント上昇した。



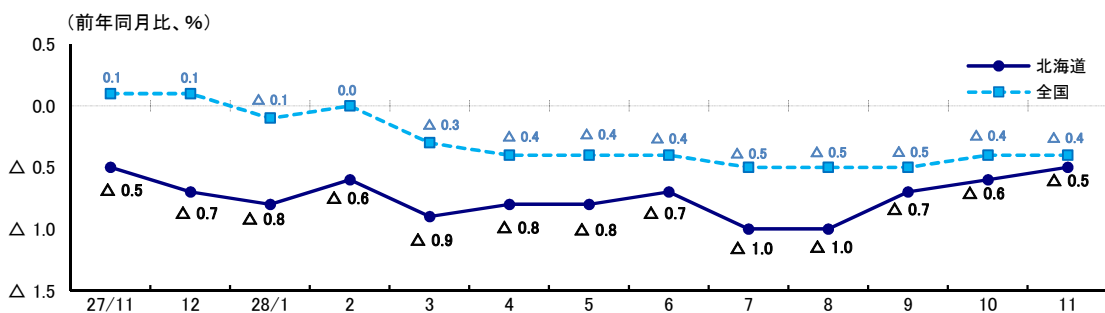
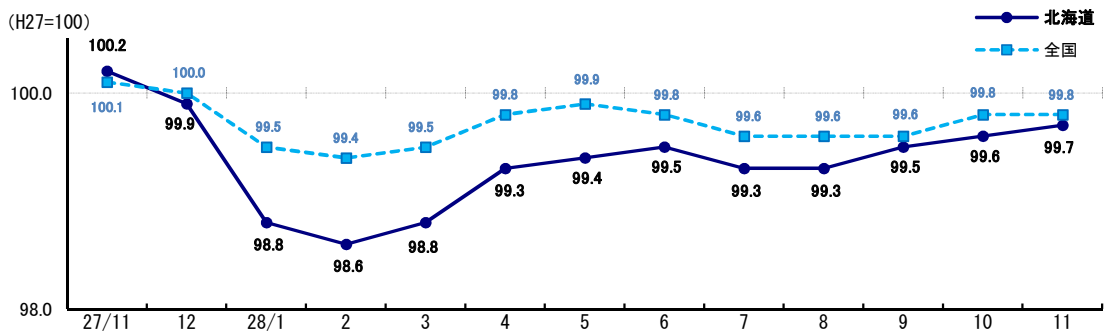
(総務省調べ)

[物価動向]

■物 価～消費者物価指数は前年を下回った

◆消費者物価指数（生鮮食品除く）（11月）◆

消費者物価指数は、99.7で前年同月と比べ0.5%の低下となり、20か月連続して前年を下回った。



(総務省調べ)

[企業情報]

■企業のみなさまから伺いました

◆百貨店(道央圏)

【大雪の影響により来店客数が減少も、年末年始の食品ニーズは堅調】

12月は、ボリュームゾーンにおける冬物衣料の動きの鈍さに加え、クリスマス3連休の初日となる23日の大雪など悪天の日が多かったことから来店客数が減少し、売上は前年を下回った。そのような中でも、歳暮ギフトやクリスマスケーキ、おせちの受注等はいずれも前年実績を上回った。

【『爆買い』による影響が一巡したインバウンド消費】

インバウンドについては、1年以上前に見られた『爆買い』による反動減の影響が一巡し、さらに直近の円安効果もあり、久しぶりに前年対比でプラスとなった。傾向としては従来通り化粧品や雑貨などの人気が依然として高い。

◆スーパー(道央圏)

【年末年始を迎え売上は堅調】

12月は、大雪などで荒天の日が多く、交通（道路）状況は悪かったことから、来店客数は前年を若干下回ったものの、客単価が上がったことで、売上は前年並みを維持することができた。

野菜や果物については、前年と比べて価格はまだ高止まっているが、堅調な売上となった。

クリスマスや年末年始用として、お寿司などの商品が安定して売れたほか、おせち料理の予約販売が好調だった。

また、手軽に食べることができる、麺類やご飯物などの冷凍食品やカップ麺も売れ行きもよかった。

◆コンビニエンスストア(道央圏)

【大雪の影響で客足に影響を及ぼしたものの、その後は売上が好調に推移】

12月としては気温が低く、また道央圏を中心に大雪の影響で渋滞、悪路となり、客足に影響を及ぼした。低温の影響で、飲料水やアイスなどの売れ行きが悪かったが、ボーナス支給後は売上・客数とも好調に推移。大雪により近場で買物する需要も増え、前年以上の売上となった。クリスマスや年末商材が好調で、少人数向けの商品が特に好調に推移した。

◆卸売業(道央圏)

【売上は上昇傾向】

道内の企業や自治体を取引相手として、公共工事、卸売、運輸や旅行業など、幅広く事業を展開しており、今秋の台風の影響による農産物の収穫量の落ち込みで輸送量は減少したものの、公共事業における建材供給などが堅調に推移していることもあり、全体の売上は増加傾向となっている。

【人材確保が課題】

新卒者の採用については、今後の年齢構成を考慮し、定期的に採用するようにしている。

熟練社員の退職などに伴い若者への技術の継承にも支障をきたしているため、募集の際に応募者が増えるよう、会社を広く知ってもらうための取組を進めるほか、インターネット求人サイトの活用など、これからの人材確保に積極的に取り組んでいく予定。

◆製造業(道央圏)

【厳しい経営環境】

売上のメインとなっている家電製品の部品については、海外製品のシェアの拡大などにより受注が減少傾向にある。また、輸出品についても最近の円高基調で採算が取れないなど、経営環境は厳しい状況にある。

【自社製品の開発で活路を見いだす】

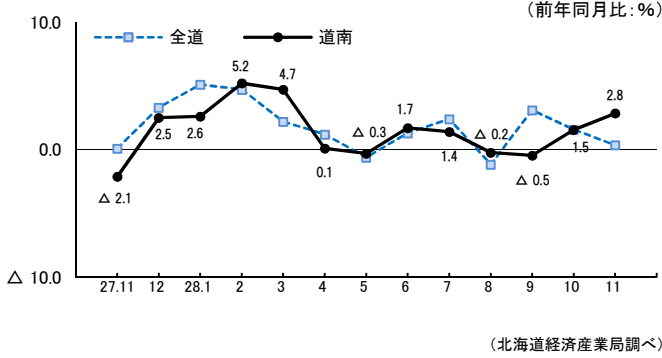
現在も、自社開発製品の製造販売を行っているが、今後は、競合他社と競える魅力ある製品を市場に投入することで活路を見いだしたいと考えているため、産官連携による新商品開発などに取り組むほか、新たな販路の開拓や拡大のため道内外で開催される展示会などに積極的に参加している。

[地域の経済動向]

■道南圏

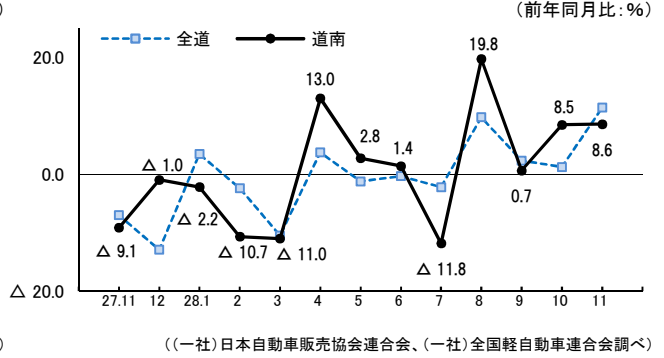
◆百貨店・スーパー販売額(全店)(11月)◆

(全店、函館市)
2か月連続で前年を上回った



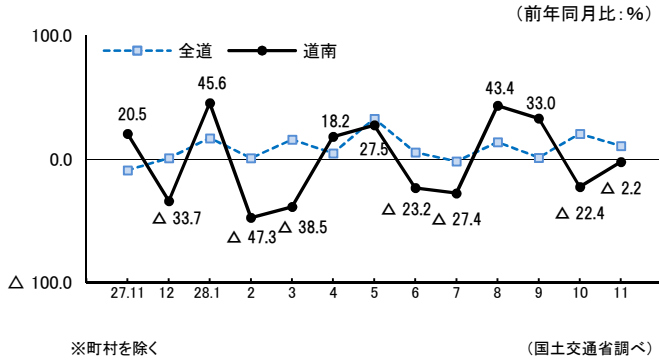
◆新車登録台数(乗用車)(11月)◆

4か月連続で前年を上回った



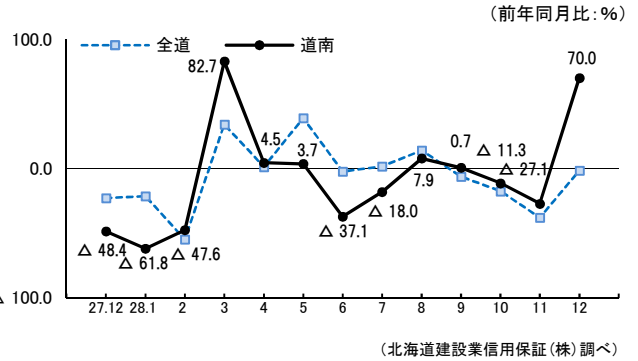
◆新設住宅着工戸数(11月)◆

2か月連続で前年を下回った



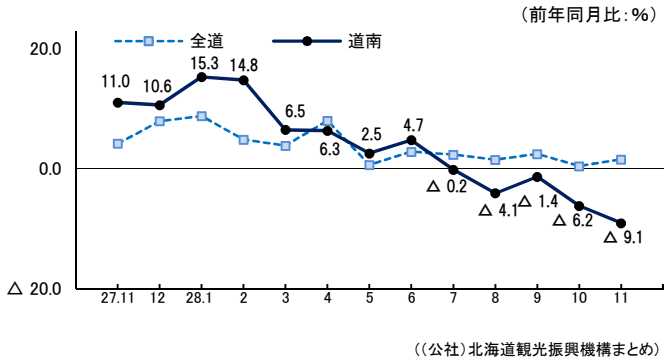
◆公共工事請負金額(12月)◆

3か月ぶりに前年を上回った



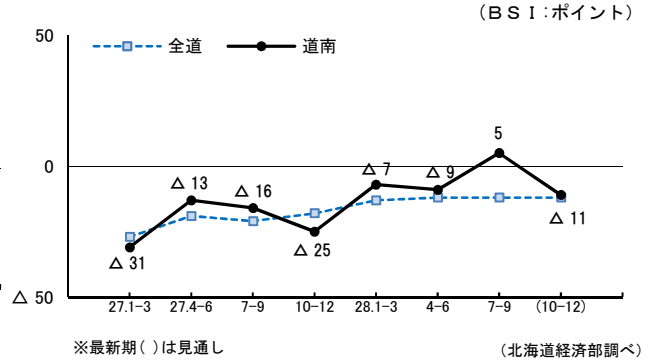
◆航空機利用による来道者数(着地別)(11月)◆

5か月連続で前年を下回った



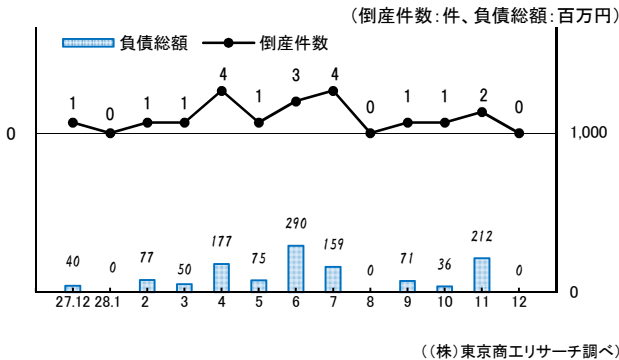
◆企業の業況感(7-9月期)◆

今期はプラスに転換した



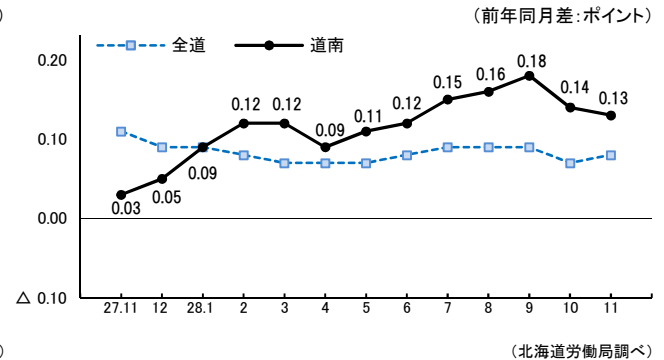
◆企業倒産件数・負債総額(12月)◆

倒産は発生しなかった



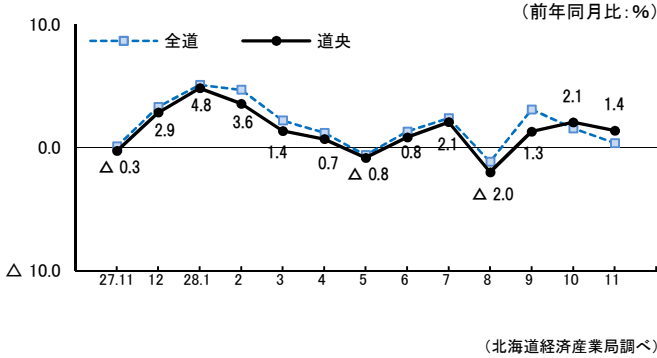
◆有効求人倍率(11月)◆

79か月連続で前年を上回った

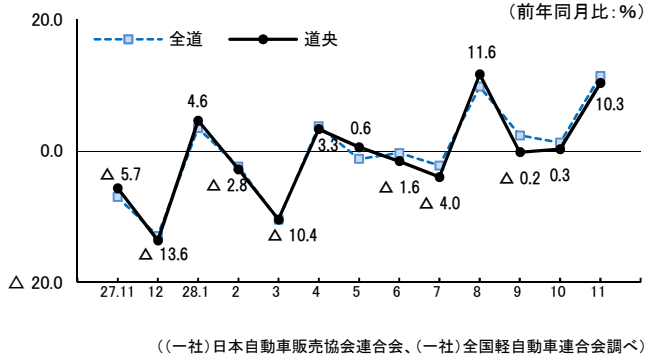


■道央圏

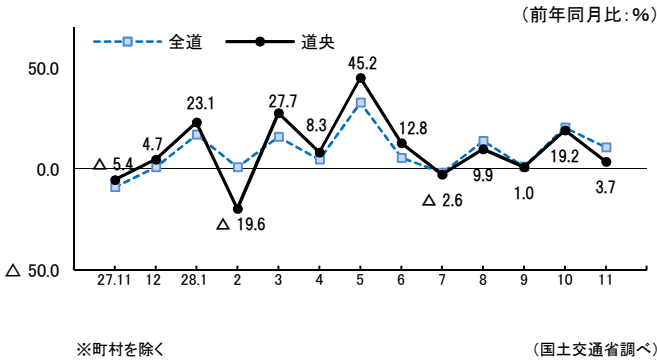
◆百貨店・スーパー販売額(全店)(11月)◆
 (全店、札幌市・小樽市・苫小牧市・室蘭市)
 3か月連続で前年を上回った



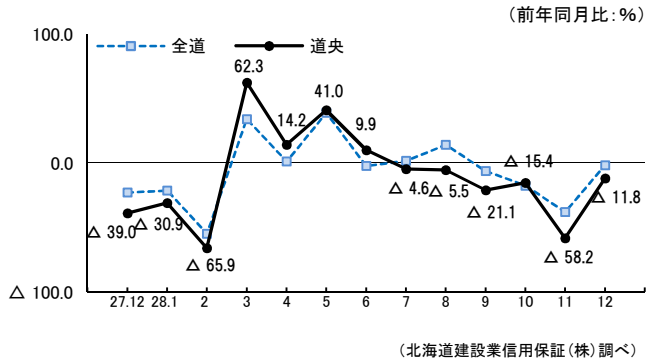
◆新車登録台数(乗用車)(11月)◆
 2か月連続で前年を上回った



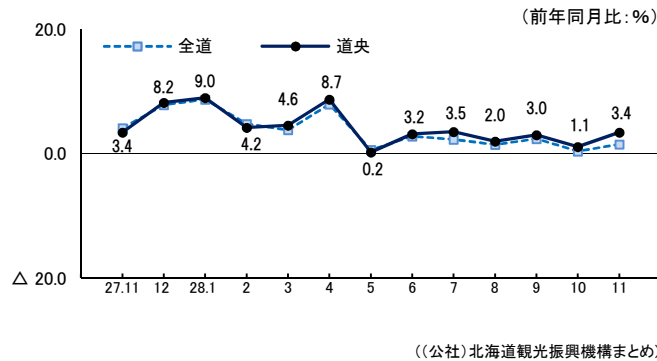
◆新設住宅着工戸数(11月)◆
 4か月連続で前年を上回った



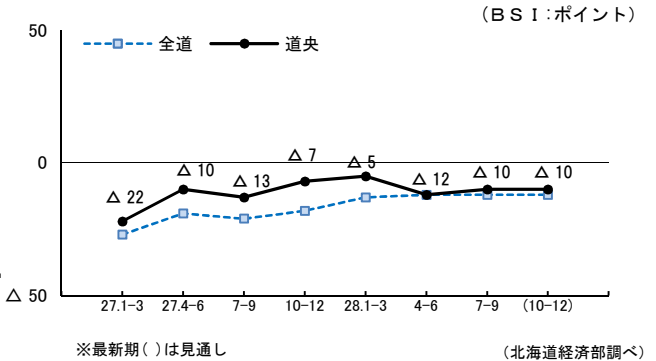
◆公共工事請負金額(12月)◆
 6か月連続で前年を下回った



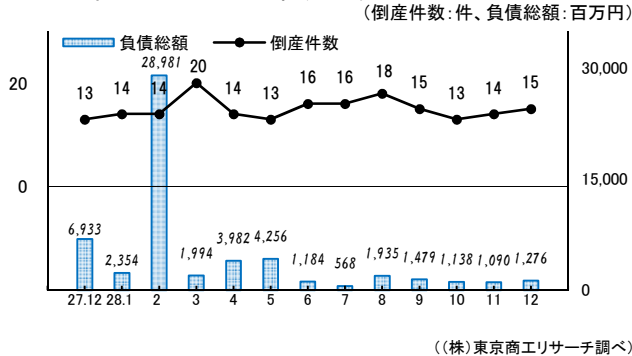
◆航空機利用による来道者数(着地別)(11月)◆
 29か月連続で前年を上回った



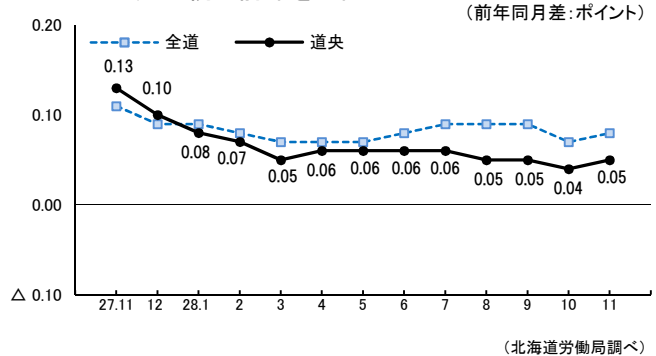
◆企業の業況感(7-9月期)◆
 前期からマイナス幅が縮小した



◆企業倒産件数・負債総額(12月)◆
 10億円以上の大型倒産は発生しなかった



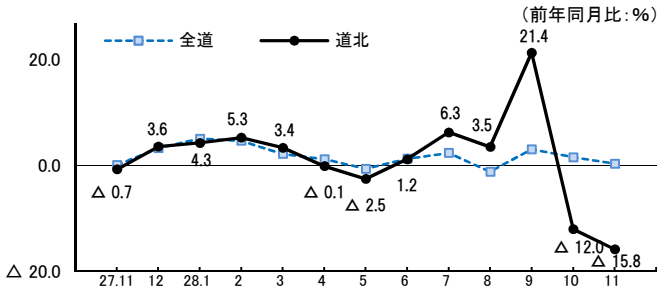
◆有効求人倍率(11月)◆
 81か月連続で前年を上回った



■道北圏

◆百貨店・スーパー販売額(全店)(11月)◆

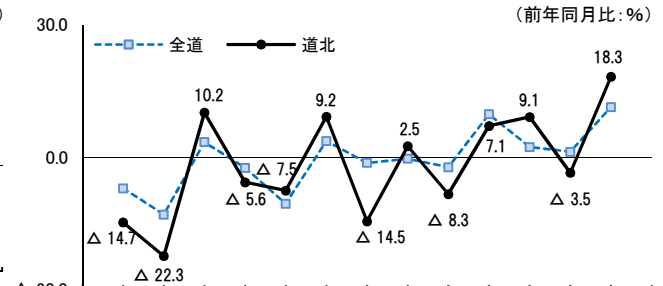
(全店、旭川市)
2か月連続で前年を下回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(11月)◆

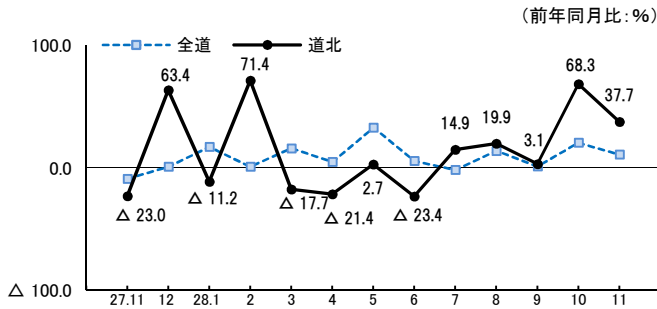
2か月ぶりに前年を上回った



(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(11月)◆

5か月連続で前年を上回った

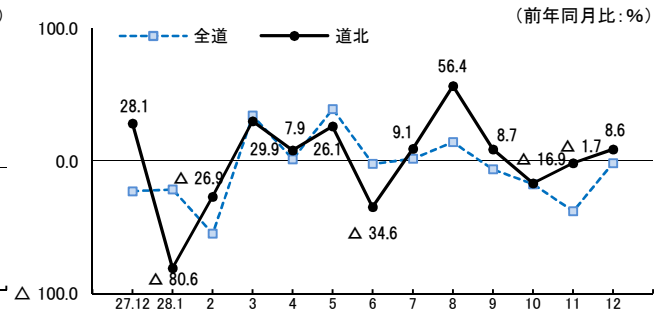


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(12月)◆

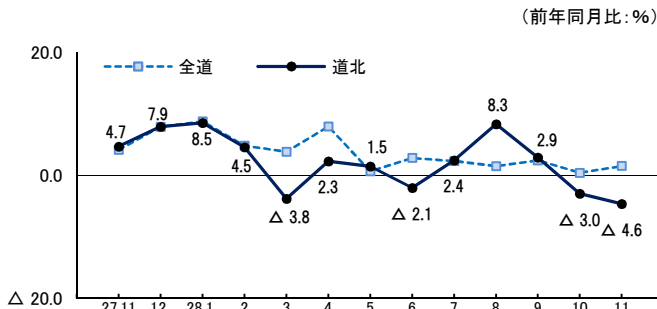
3か月ぶりに前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(11月)◆

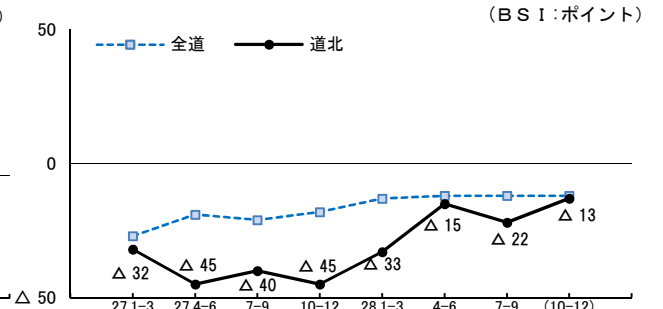
2か月連続で前年を下回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(7-9月期)◆

前期からマイナス幅が拡大した



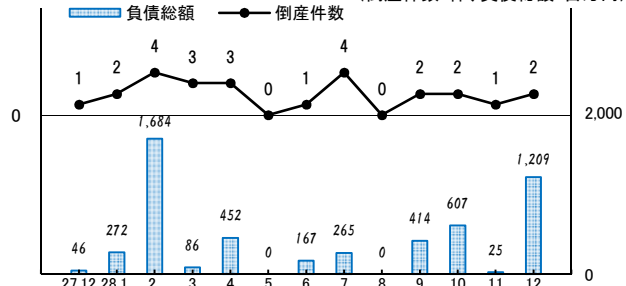
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(12月)◆

10億円以上の大型倒産が1件発生した

(倒産件数:件、負債総額:百万円)

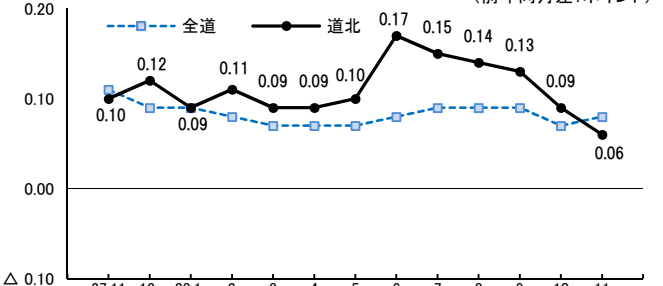


(株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(11月)◆

83か月連続で前年を上回った

(前年同月差:ポイント)

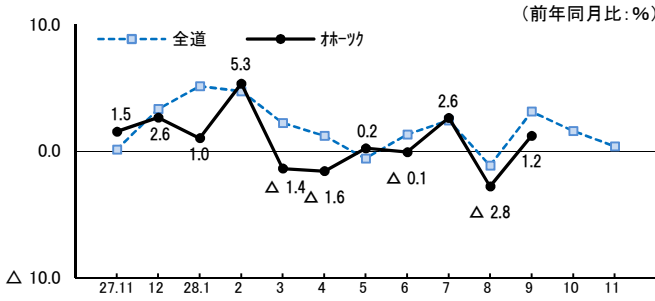


(北海道労働局調べ)

■オホーツク圏

◆主要小売店売上高（全店）（9月）◆

2か月ぶりに前年を上回った

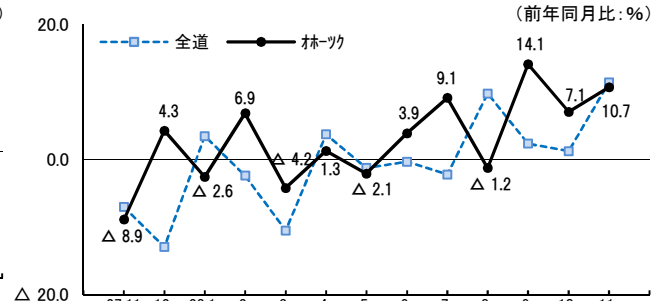


※全道は大型小売店販売額

(北海道財務局北見出張所調べ)

◆新車登録台数(乗用車)（11月）◆

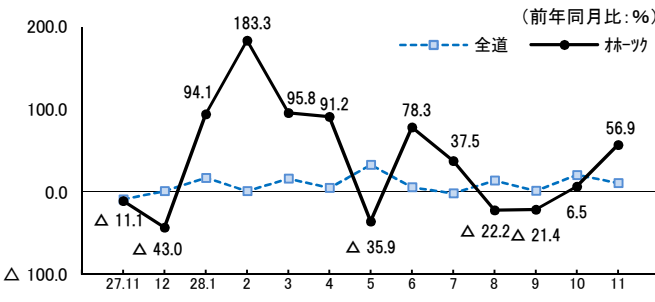
3か月連続で前年を上回った



(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ

◆新設住宅着工戸数（11月）◆

2か月連続で前年を上回った

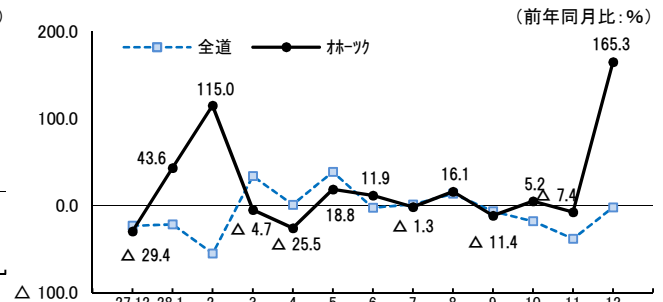


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額（12月）◆

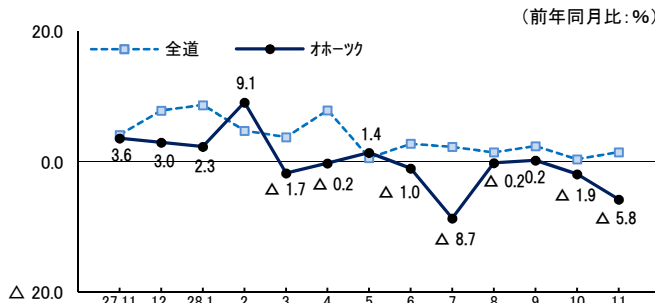
2か月ぶりに前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)（11月）◆

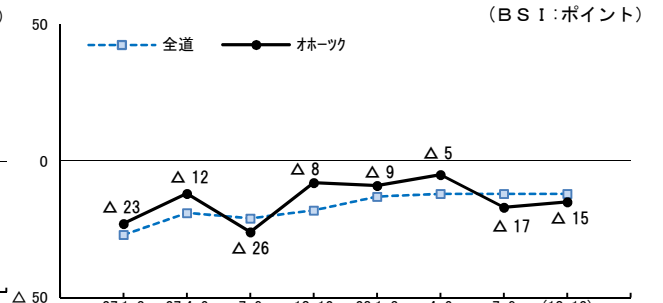
2か月連続で前年を下回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感（7-9月期）◆

前期からマイナス幅が拡大した



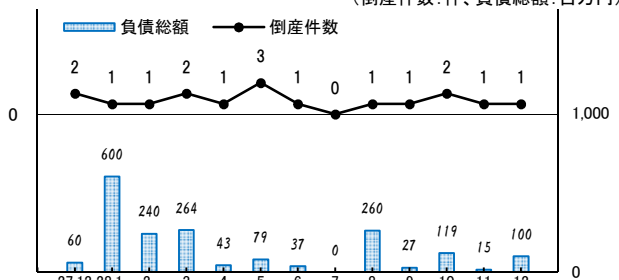
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額（12月）◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

(倒産件数:件、負債総額:百万円)

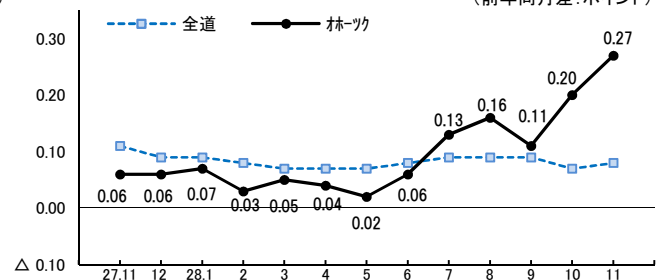


(株)東京商工リサーチ調べ

◆有効求人倍率（11月）◆

87か月連続で前年を上回った

(前年同月差:ポイント)



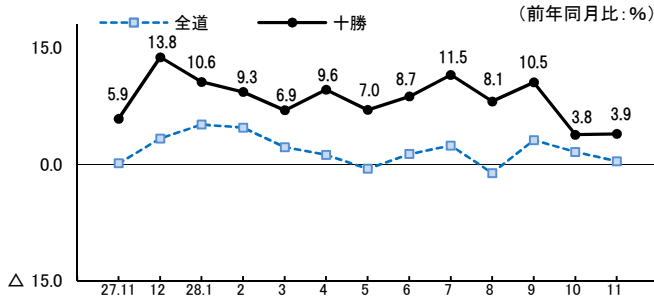
(北海道労働局調べ)

■十勝圏

◆百貨店・スーパー販売額(全店)(11月)◆

(全店、帯広市)

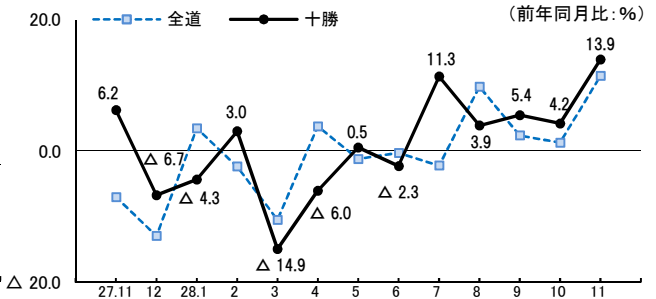
17か月連続で前年を上回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(11月)◆

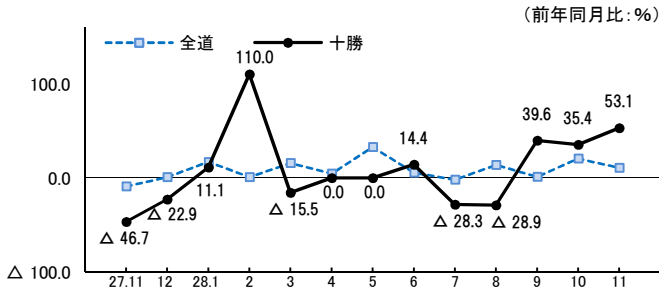
5か月連続で前年を上回った



((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(11月)◆

3か月連続で前年を上回った

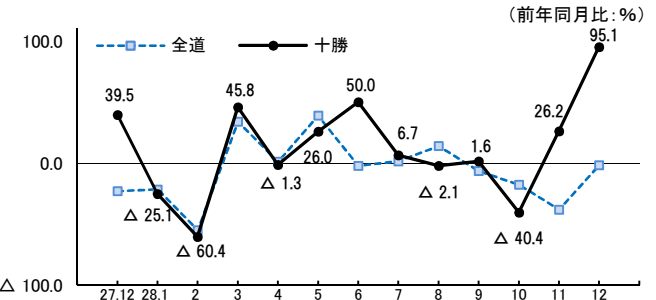


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(12月)◆

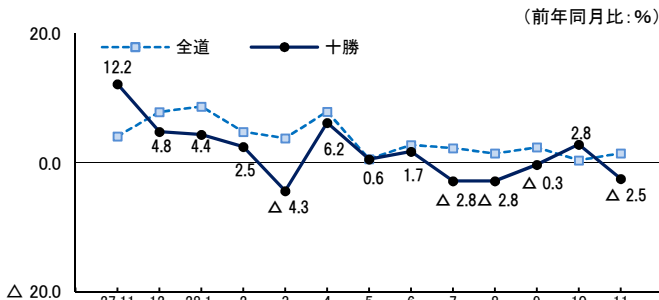
2か月連続で前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(11月)◆

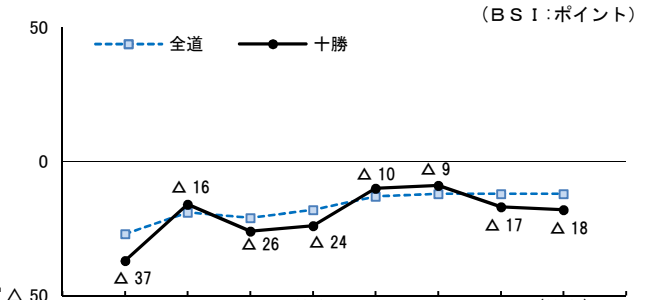
2か月ぶりに前年を下回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(7-9月期)◆

前期からマイナス幅が拡大した



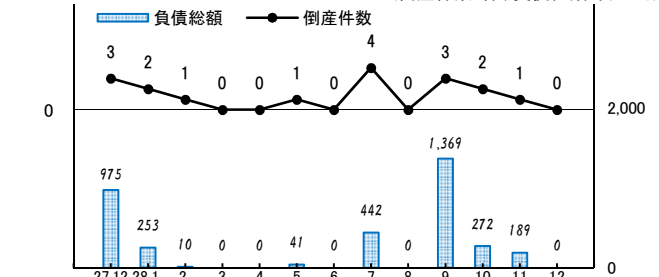
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(12月)◆

倒産は発生しなかった

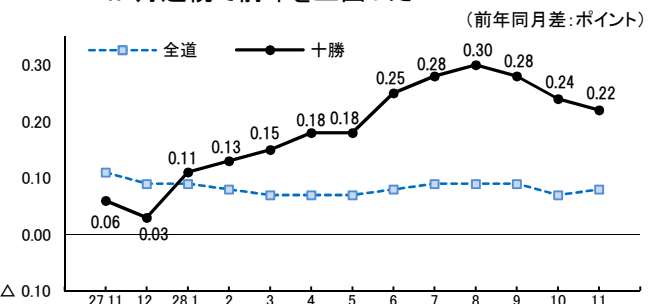
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



((株)東京商工リサーチ調べ)

◆有効求人倍率(11月)◆

24か月連続で前年を上回った

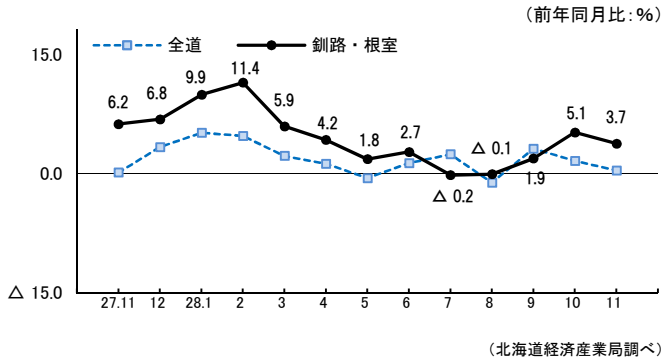


(北海道労働局調べ)

■釧路・根室圏

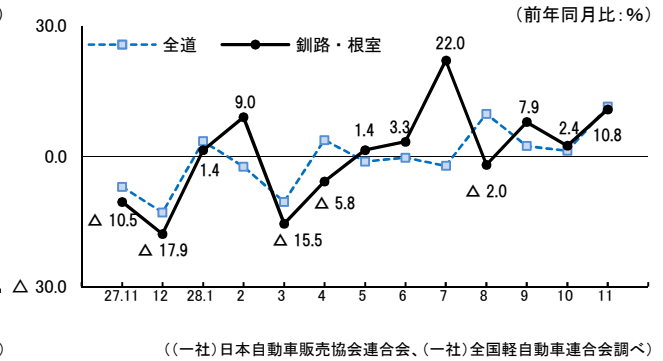
◆百貨店・スーパー販売額(全店)(11月)◆

(全店、釧路市)
3か月連続で前年を上回った



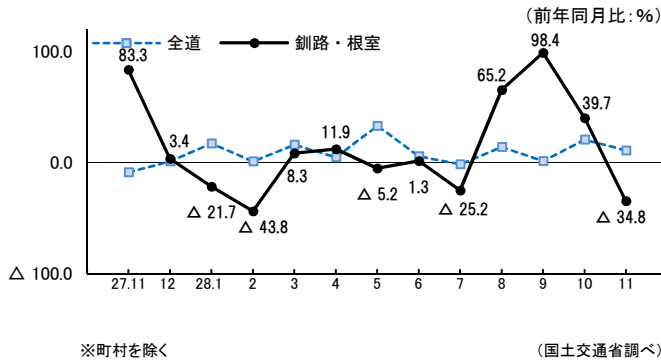
◆新車登録台数(乗用車)(11月)◆

3か月連続で前年を上回った



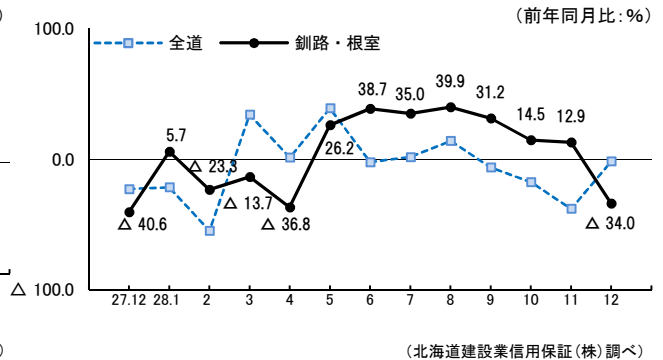
◆新設住宅着工戸数(11月)◆

4か月ぶりに前年を下回った



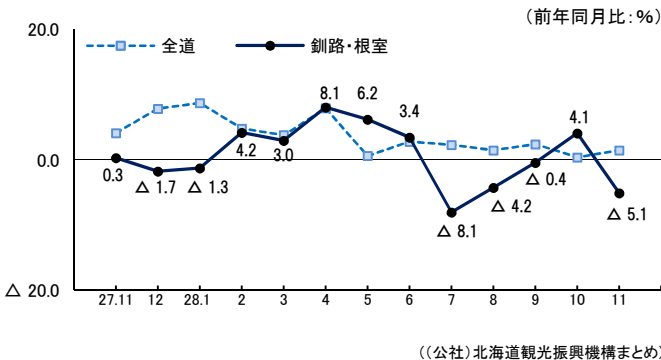
◆公共工事請負金額(12月)◆

8か月ぶりに前年を下回った



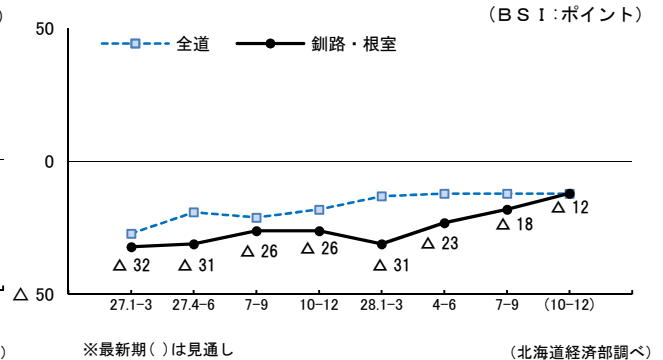
◆航空機利用による来道者数(着地別)(11月)◆

2か月ぶりに前年を下回った



◆企業の業況感(7-9月期)◆

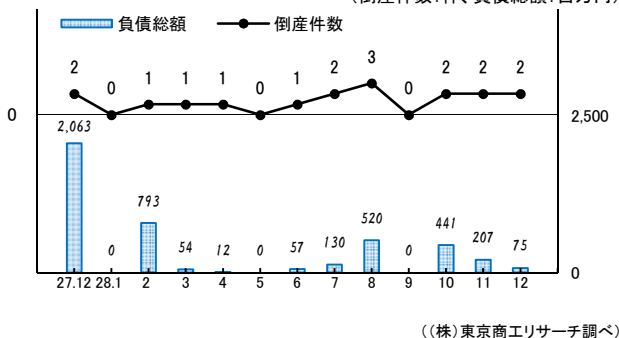
前期からマイナス幅が縮小した



◆企業倒産件数・負債総額(12月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

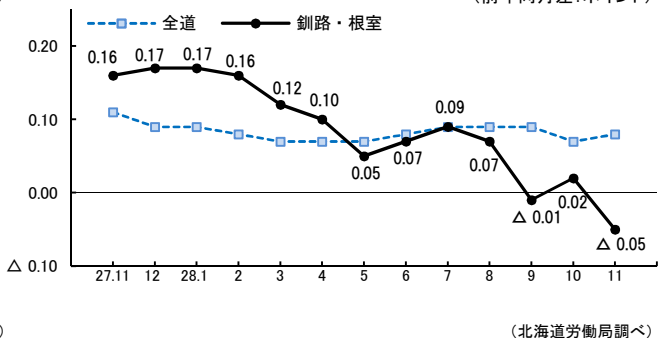
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



◆有効求人倍率(11月)◆

2か月ぶりに前年を下回った

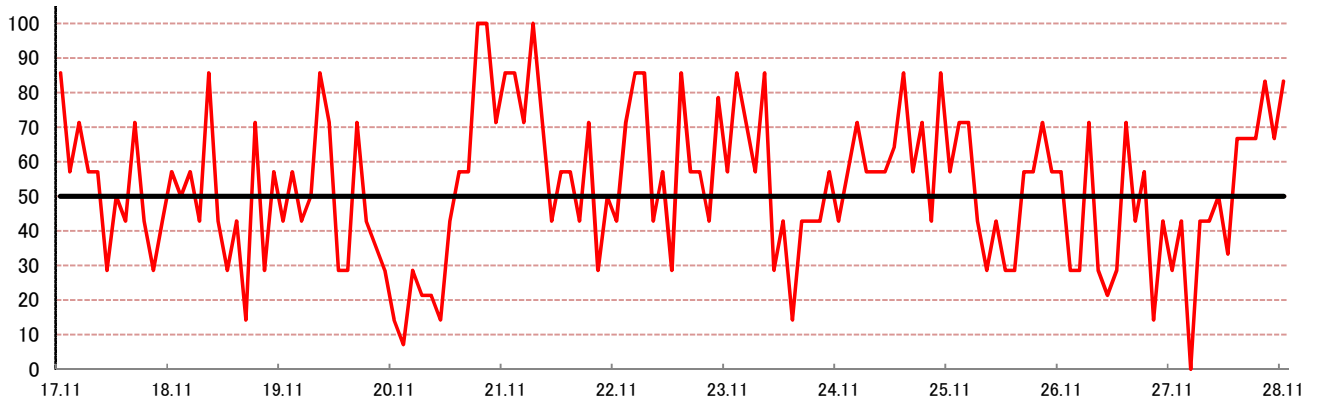
(前年同月差:ポイント)



[景気動向指数・全国の景気]

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系 列 名		27/ 11月	12月	28/ 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
先 行 系 列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	-	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+	-	-
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	-	-	-	+	-	+	+	+	+	-	-	-	+
	生産指数(生産財)	-	-	-	-	+	+	+	-	-	-	-	r -	p +
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	-	+	+	-	-	-	+	+	-	+	+	+	-
	新設住宅着工戸数	-	-	-	+	+	+	+	-	-	-	+	+	-
	企業倒産件数(逆サイクル)	+	+	+	-	+	-	+	-	-	+	-	+	-
	企業業況判断D.I.	+	+	0	0	0	0	+	+	+	-	-	-	-
	拡張系列数	2	4	3.5	3.5	3.5	3.5	6	4	3	3	3	3	2
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	28.6	57.1	50.0	50.0	50.0	50.0	85.7	57.1	42.9	42.9	42.9	r 42.9	p 28.6
一 致 系 列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	-	+	-	-	-	-	-	+	+	-	+	+	+
	生産指数(鉱工業)	-	-	-	-	+	+	-	+	+	+	+	r -	p +
	出荷指数(生産財)	+	-	-	-	+	+	-	-	+	+	+	r +	p +
	大口電力使用量	-	-	-	+	-	/	/	/	/	/	/	/	/
	百貨店販売額(既存店)	-	+	-	+	-	-	-	+	+	+	+	r -	p +
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	-	+	-	+	+	+	+	-	-	-	-	+	-
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	+	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	r +	p +
	拡張系列数	2	3	0	3	3	3	2	4	4	4	5	4	5
	採用系列数	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6
	一致指数	28.6	42.9	0	42.9	42.9	50.0	33.3	66.7	66.7	66.7	83.3	r 66.7	p 83.3
遅 行 系 列	常用雇用指数(規模30人以上)	+	+	+	+	-	-	-	+	-	-	-	-	-
	完全失業率(逆サイクル)	+	+	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-
	消費者物価指数(総合)	0	-	-	-	-	+	-	0	-	0	+	+	+
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	+	-	-	-	-	-	+	-	-	-	+	+	+
	生産指数(資本財)	+	-	-	-	-	+	-	+	+	+	-	r -	p -
	拡張系列数	4.5	2	0.5	1.5	0	2	1	3	1.5	2	2	2	2
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4
遅行指数	90.0	40.0	10.0	30.0	0.0	40.0	20.0	60.0	30.0	40.0	40.0	r 40.0	p 50.0	

(注) 1 北海道経済部経済企画局経済企画課試算。pは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3か月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

最近の経済動向
平成29年1月号

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>